

【2024年3月1日05時30分 仙台管区气象台発表】

東北日本海側では、発達する低気圧の影響により、雪を伴った西よりの強風となり、海上ではしける見込みです。1日夜のはじめ頃から2日にかけて、風雪や高波に注意・警戒してください。

発達した低気圧による係留船舶の乗揚・転覆に注意！！

台風や発達した低気圧により、東北地方の漁港等において、係留中の漁船等が漂流・転覆する事故が多発しています。同種事故防止のため、**所属船や利用者等への注意喚起**をお願いします。

台風・低気圧による漁船等の事故

(東北地方において係留中に10隻以上の事故が発生したもの)

- 平成18年10月(低気圧) : 45隻
- 平成28年1月(低気圧) : 36隻
- 令和元年10月(台風) : 16隻
- 令和6年1月(低気圧) : 12隻
- 令和6年2月(低気圧) : 13隻



令和6年1月
乗揚・転覆の状況

【荒天時、係留船舶の事故を防止するためのポイント】

- 係留索を点検するとともに索の本数を増やす等の**係留強化**。
- 可能であれば、**船舶を陸揚げ(固縛)**。
- 擦れあて、防舷物は**適切な位置に、適切な数量**を設置。
- 開口部は**確実に閉鎖**。
- 係留索は**高潮等による潮位変化**を考慮して調整。



発達した低気圧が接近している時に、船や海を確認することは大変危険です。

必ず、事前に対策をしましょう！！



第二管区海上保安本部

宮城県塩釜市貞山通3-4-1

海の安全推進本部

(代表) 022-363-0111

海の安全情報Q



漁船かわら版Q

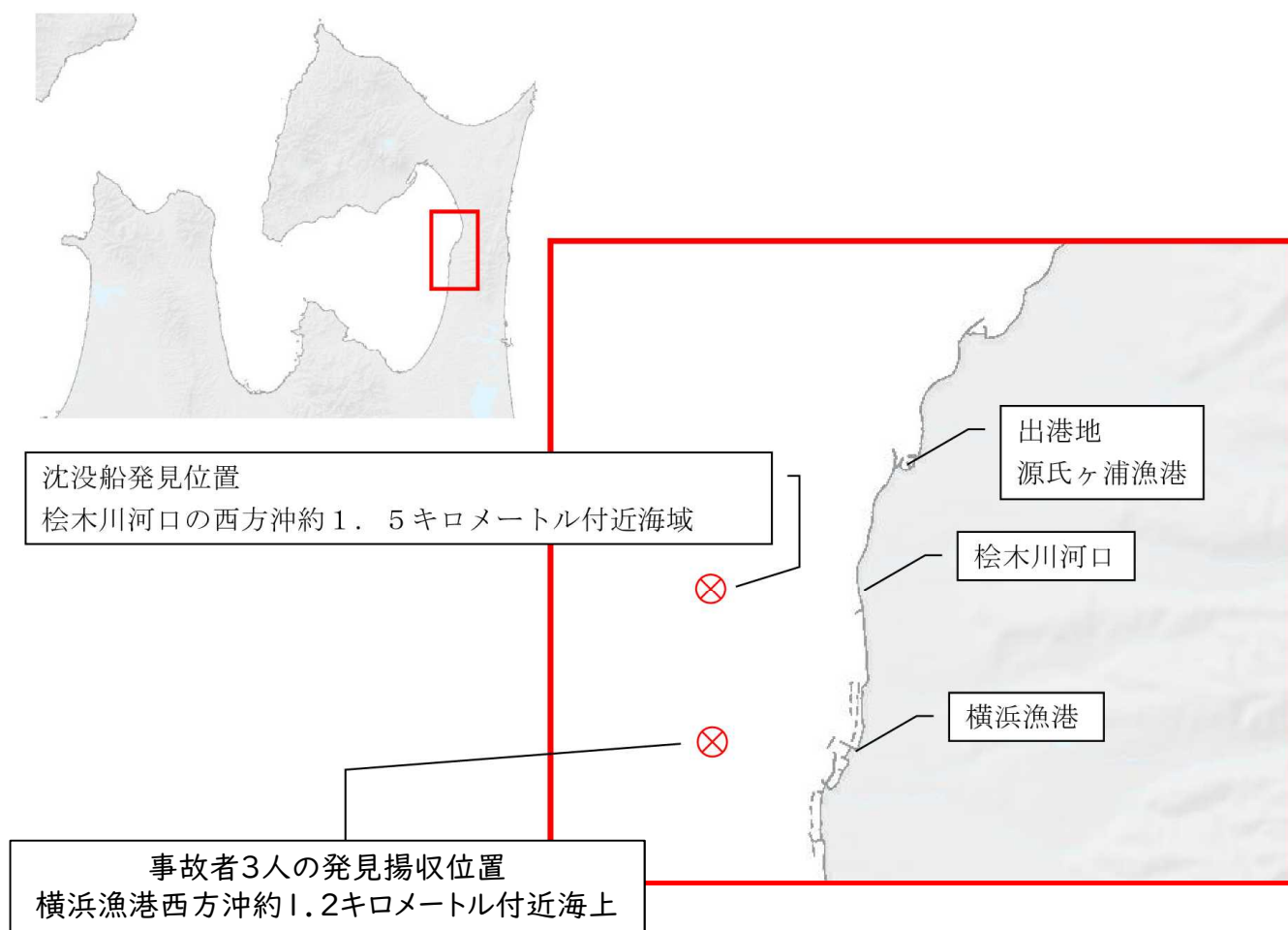


青森県陸奥湾内で漁船乗組員 3人死亡1人行方不明

令和6年2月29日、青森県横浜町の源氏ヶ浦漁港を出港した4人乗り組みのほたて養殖漁船が帰ってこないとの通報があり、僚船、海上保安庁及び海上自衛隊により捜索中のところ、横浜漁港沖において、漂流していた3人が発見されましたが、死亡が確認されました。また、3月1日、桧木川河口付近海域に船底を着底させた状態の沈没船を発見し、乗組員4人が乗っていた漁船と判明しましたが、残りの1人は行方が分からなくなっています。

1日現在、海上保安庁、消防、海上自衛隊及び僚船が、引き続き周辺の海域を捜索しています。

なお、発見された3人のうち、1人はライフジャケット未着用状態で発見されています。



事故原因は調査中ですが、海中転落に備え、以下を励行してください。

- **気象海象を確認**し天候不良時は出港取り止め
- 万が一の備え、**仲間の船と行動**しましょう
- 荒天が予想される時は**早めの帰港**
- 機関や舵を使用し、**安定した状態**で作業
- **ライフジャケット**の常時着用
- 防水パック入りスマートフォン等による**連絡手段の確保**
- 海上保安庁緊急通報用電話番号「**118番**」の活用